

<指定演題>

時間						講演内容
8月27日	1	11:30	～	12:00	30 分	関節周囲自家組織による組織修復の可能性 ―肩峰下滑液包に着目して―
	2	10:20	～	10:50	30 分	Precision Hip Arthroscopy in the Modern Era: Clinical Impact of Computer-Assisted Planning and Hip-Pelvic Dynamics
	3	11:30	～	12:30	60 分	BTB, QTB再建術の新展開: Short bone plug法におけるAdjustable loop固定の有用性
	4	13:50	～	14:20	30 分	半月板円周線維補強術による半月板機能回復への試み
	5	16:40	～	17:10	30 分	Knotlessアンカーを用いた肩鏡視下手術―有用性および手技的工夫―
	6	11:30	～	12:00	30 分	スポーツ選手の肩関節疾患におけるMRI・CT画像診断と治療
	7	12:00	～	12:30	30 分	スポーツ整形外科における肩・肘エコー診療の可能性 ―診断・治療・研究・予防―
	8	11:30	～	12:30	60 分	低エンドトキシン化アルギン酸ゲルを基盤とした新規軟骨再生治療法の開発と臨床応用
	9	9:00	～	9:30	30 分	SCR Update 2026
	10	10:20	～	10:50	30 分	遠位脛腓靱帯損傷の治療UPDATE
	11	10:50	～	11:20	30 分	足関節外側靱帯損傷に対する病態別治療戦略―保存から鏡視下手術まで―
	12	11:30	～	12:00	30 分	早期変形性膝関節症における滑膜炎の病態と疾患進行リスクに関する疫学研究
	13	12:00	～	12:30	30 分	スポーツを続ける女性の骨と痛みをどう診るか: 女性アスリートからマスターズ世代まで
	14	12:40	～	13:10	30 分	グロインペイン症候群の現在と未来
	15	13:10	～	13:40	30 分	FAIの現在と未来
	16	13:50	～	14:20	30 分	肘離断性骨軟骨炎の治療戦略
	17	15:30	～	16:00	30 分	アスリートの胸・腰椎障害 - 見逃さない診断と治療選択のコツ -
	18	12:00	～	12:30	30 分	ACWOと脛骨近位、大腿骨遠位derotational osteotomyの適応と実際
	19	11:30	～	12:00	30 分	野球選手に対するスポーツ医科学サポートの実際―当クリニックにおける包括的評価と現場連携の実際―
8月28日	20	11:30	～	12:30	60 分	肩関節鏡視下手術2026: My UPDATE
	21	11:30	～	12:00	30 分	Internal Braceを用いたMPFL再建術: 手技の要点と中期成績
	22	9:10	～	9:40	30 分	アスリートの足部・足関節外傷と障害 ―競技復帰に向けた最新の治療―
	23	14:20	～	14:50	30 分	膝軟骨損傷に対する膝周囲骨切り術
	24	11:30	～	12:00	30 分	ACL再建術の10年を再考する: 大動物モデルから読み解く「再建 + α 」の現在地
	25	9:40	～	10:10	30 分	アスリートの肩周囲エコーガイド下インターベンションの適応と戦略
	26	10:20	～	10:50	30 分	肩・肘関節のスポーツ障害に対する体外衝撃波療法の適応と限界
	27	10:50	～	11:20	30 分	アスリートに対する体外衝撃波療法の適応と限界 ―下肢スポーツ障害・外傷を中心に―
	28	14:20	～	14:50	30 分	ジャパンラグビーリーグワンにおける外傷・障害の現状と展望～安全対策の現状も含め～
	29	15:00	～	15:30	30 分	整形外科医のための脳振盪入門
	30	15:30	～	16:00	30 分	リーグワンにおける脳振盪管理の現状と展望
	31	11:30	～	12:00	30 分	スポーツ復帰を目指す股関節診療の現在: エコーを用いた保存治療・股関節鏡手術・骨切り・THA
8月29日	32	11:30	～	12:00	30 分	Centralizationを活用したRadial Tearの補強術
	33	12:00	～	12:30	30 分	半月板逸脱はどこまで制御できるか -Simple is powerful: ABC法の臨床成績-
	34	9:10	～	9:40	30 分	パラアスリート支援の現在地 ― 現場で見えてきた課題と今後の方向性 ―
	35	9:40	～	10:10	30 分	パラスポーツにおける救護体制の構築とチームドクターの役割 ―日本パラ陸上競技連盟の取り組みを中心に―
	36	10:50	～	11:20	30 分	妊娠期・産後のアスリート支援